

せいしよかしよ ふくいんしよ しょう せつ  
聖書箇所：ヨハネの福音書 11 章 35 節

◆今日のみことば

「イエスは涙を流された」ヨハネの福音書 11 章 35 節

◆メッセージ

くる かな けいけん かみ とお そんざい わたし きも わ  
苦しいこと、悲しいことを経験して、神さまは遠い存在。私の気持ちなど分かってくれるはずがない。  
かんが  
そのように考えたことはないでしょうか。

じゅうねんいじょうまえ わたし あに ちち つづ てんごく おく とお す  
十年以上前になりますが私は、兄、父を続けて天国へ送ったことがありました。遠くに住んでいました  
ので、どちらも直接のお別れを言うことも出来ず、とても寂しく、深い悲しみの中にいたことを思い出  
します。

とき きょう せいしよ かしよ おも だ ちじょう はたら とき た  
その時、今日の聖書の箇所を思い出しました。イエスさまが地上でお働きになっていました時、よく立  
ち寄っていた家があります。それはベタニアという町にあるマルタ、マリアという姉妹の家です。お忙  
まいにち す やす え ぼしよ かのじよ ひとり  
しい毎日を過ごしていたイエスさまにとって休みを得られる場所であったでしょう。彼女たちにはもう一人  
ラザロというおとうと とき かれ おも びょうき し ひとつ  
弟がいましたが、ある時、彼が重い病気にかかった知らせがイエスさまのもとに届くのです。  
しかし、イエスさまがその家に着いた時にはラザロが死んで四日もたっていたのです。

せいしよ し たいめん まえ なみだ なが しる なみだ なみだ  
聖書は死んだラザロと対面する前に「イエスは涙を流された」と記しています。この涙はどんな涙で  
あったのでしょうか。

ひと かぞく あい おも いっしょ も くだ なか なが なみだ  
一つはこの家族を愛されていたイエスさまですから、その思いと一緒に持って下さった中で流された涙  
であったと思います。なぜならイエスさまは「私たちの弱さに同情できない方ではありません」と書か  
れていました。わたし かな し いっしょ なみだ くだ かた  
私たちの悲しみを知り、一緒に涙して下さるお方なのです。

ひと し つみ し わたし ちにげん ふか どうじょう  
もう一つはラザロの死にあたって、罪ゆえに死ななければならない私たち人間への深い同情です。そし  
てその同情は、イエスさまを信じる者が死に滅びるのではなく、いのちを得て、天国において永遠に生き  
るために、ご自身のいのちをささげられることによって、愛として私たちに示されたのです。

ふか かな とき わたし ひとり とも なみだ くだ お  
深い悲しみの時、私たちは一人ではありません。イエスさまが共にいて涙して下さり、そこで終わること  
のない希望を与えて下さるのです。

◆お祈り

かみ わたし かな し とも な くだ かんしゃ  
「神さま、私たちの悲しみを知って、共に泣いて下さるイエスさまがおられることを感謝します。そして  
そのイエスさまの与えて下さった希望によって歩み、先に天へ召された方々との再会を待ち望むことが出来  
ますように。」

(衣笠中央キリスト教会牧師 三浦峰人)